

第2回池田町義務教育のあり方検討委員会 会議録（概要）

日 時	令和6年11月28日（木） 午後6時～午後7時40分
場 所	池田町役場2階 大会議室
出席委員	委員長 池田園小運営協議会代表 梅牧 力 副委員長 高瀬中運営協議会代表 宮本 和紀 会染園小運営協議会代表 櫻井 康人 池田小学校PTA代表 皆川 瑞穂、高瀬中学校PTA代表 藤井 周二 池田保育園保護者代表 矢口 正紘、 会染保育園保護者代表 下里 純平 自治会協議会長 徳嵩 洋行、池田小学校長 工藤 美恵 会染小学校長 葭本 直樹 高瀬中学校長 原 毅 識見を有する者 村瀬 公胤、丸山 史子 公募による者 佐藤 豊、丸山 尚子 池田町社会福祉協議会長 中嶋 一光
欠席委員	会染小学校PTA代表 山本 一喜、自治会協議会副会長 片瀬 善昭 識見を有する者 下川 威、公募による者 平林 利香子
事務局	教育長 山崎 晃、学校保育課長 井口 博貴 学校保育課長補佐兼学校保育係長 塩川 亜弥子
書記	学校保育課長補佐兼学校保育係長
傍 聴	8人

1 開会

学校保育課長

2 委員長あいさつ

テレビ番組から関連して私の経験から感じた事であるが、大きな学校では、遠足等に行くと、クラスを超えていろいろなことに興味を持ってる子どもたちが集まって、動いている、それが良さだなと思った。

一方で小さな学校に在職中、6年から1年の担任に変わった時に入学して来た子どもたちは、私の情報を全て知っていた。6年生から皆教えてもらったんだと思う。濃密な人間関係の中で過ごす。それは小さな学校の良さでもある。

今日は課題にもなってきますけれども、学校規模の大小のそれぞれの良さを考えながら、また検討していただければいいかなと思う。

3 教育長あいさつ

昨日、高瀬中の3年生が池田町の人口減少、あるいは池田町の少子化について考えて、町長に提案をした。

その中で一つのグループが、教育ということで学校のことを取り上げた。これからの学校について、地域の人、保護者、先生、そして子どもたちで考えたい。そういう場を作ってくれということをお願いしていた。

私が答弁することになったが、ぜひどういうふうにすればいいか前向きに考えたいと申し上げた。

そのとき、子どもたち自身が学校のことを考えていきたいんだなということを改めて思い、今日アンケートのことも話題になるが、前回お話させていただいたように、子どもたちにもアンケートは聞きたいなということを改めて思ったところである。

もう一点は信濃毎日新聞にしばらく前、軽井沢町が学びの多様化学校を作るということがトップ記事で掲載された。

これは、県下で初めての試みということになる。これを読みながら、池田町だけではなく、多くの市町村が学校をどうしていけばいいのか悩んでいるんだなと。そして今何かしら舵を切ろうとしているということを改めて感じた。

4 委員の委嘱

学校保育課長より、池田小学校 PTA 代表委員が交代し皆川氏になったことが説明され、皆川氏よりご挨拶を頂いた。

5 学校の取り組みの実際

小中学校3校の校長より、各学校の教育目標、グランドデザイン、教育活動、コミュニティ・スクールの活動、今後の課題等についてパワーポイント等により説明がされた。

6 協議事項

(1) 池田町の小中学校のよさと今後の課題（少子化による課題を含む）について

⇒教育長よりグループ協議の進め方について以下の事を説明した。

- ・ 4つのグループに分かれ、良い点、課題について各委員が付箋に書き出し、模造紙に貼る。
- ・ グループごと協議しながら付箋を同じような項目に分け貼り直し、説明を書き添える。
- ・ グループで協議したことを話し合う時間は取れないため、模造紙を写真に撮り公開すること。

以上のように協議を進めた後違うグループの模造紙を見合った。

(模造紙に書かれたことは別添のとおり)

⇒教育長より、本日出された良い点について共通理解をさせていただきながら、課題について次回の会議で少子化も含めて対策を協議していきたいと説明があった。

(2) 保護者・児童生徒・職員アンケート案について

(3) 調査研究部会設置について (2項目教育長 続けて説明)

⇒教育長より、前回に会議でアンケートを実施したいと話をしてしたが、保護者・児童生徒に加えて教職員にも行いたいと説明がされた。

保護者用と教職員用は項目を同じにするが、資料として保護者用アンケート案を示し、概要について説明がされた。

また調査研究部会を立ち上げ、資料に示した委員の方に部会員となって頂きたいと説明がされた。併せてアンケート項目について大きな異論が無ければ同部会で詳細について検討して頂き、12月にアンケートを行い、次回予定されている1月に結果を発表したいと説明がされた。

(教育長) アンケートについて、文言や選択肢は修正が入る可能性があるが、聞く項目はここに示した5つのもので良いか。

(皆川委員) 保護者に教育大綱の理念が浸透しているか微妙な段階でこの質問をされると、大事な部分を押さえないまま経済合理性の部分で回答してしまう可能性があり、それは子どもたちのために良くないのではないかと少し懸念する。

(検討のための) 材料が少しあった方が良くないかと思う。例えば、こっちにこうしたらこういうメリットがあってこっちにこうしたらこういうデメリットがあると示すとか、また、他市町村での例とか、そういった材料がない段階でアンケートを行うと、こっちが多かったですっていう議論になっていくのでは無いかと危惧する。

(教育長) 教育大綱等のお話とその後半の部分とどう繋がってるのか、良くわからない。

(皆川委員) 池田町に住む全ての子どもたち一人ひとりに安心安全な学びをっていうのが、教育大綱でうたわれていることですよね。自分の個人的なイメージにもなるが、1学級あたりの児童・生徒数が20人ぐらいが、個別指導計画が練られる平均的な人数だっていうのを聞いたことがある。そういう情報があるのと無いのでは、アンケートへの回答が変わってくると思う。

その子どもたち1人1人に合った学びをどのクオリティでどう求めていくのか。というグランドデザインみたいなものがない状態で、ただ数字だけでお話をするっていうことをすべき段階なのかどうか、もっと保護者へ情報提供してからの方が良いのでは無いか、と考える。

(梅牧委員長) アンケートにちょっとそこまで求めるのは難しいのでは無いかと思うがいかがか。

(皆川委員) アンケート結果を今後参考値として使っていくのですよね。

(梅牧委員長) その通りです。

(皆川委員) そうであれば、もう少し丁寧な情報提供しないと、保護者の中に教育大綱を知らないっていう方々も多分いらっしゃる中で、アンケートを実施するのはちょっとどうかなと思う。私だけが疑問に思っているのであれば、それ

は1人の意見というふうに捉えていただければいいと思うがいかがか。

(丸山尚子委員) どんな資料を示せば良いのか考えていたが、年代の感覚で、例えば自分が40人クラスだったから(1学級あたりの児童・生徒数が)30人かなとかその何の根拠もないままに(アンケート結果の)数字が出て、それをこの会議で扱うというのは有意義では無いと感じる。逆にこの間で聞きたいシーンみたいなのが、もしおありになるようであれば、人数では無い形でアンケートを行い、意見を拾っていくという形もあるのではないか。

(皆川委員) 関連して、(1学級あたりの児童・生徒数を)ダイレクトに聞いて結果を参考値としていくってということに関する危険性を少し私は感じたので、例えば2以外の設問について概念的なところを1回クッションを置いて町民に問いかけてみるのは、ある意味良いのではないか。

町としてはこういう方向性で子供たちの学校環境について取り組もうとしている、皆さんそれについてどう思いますかっていうぐらいのやり取りを1回してみて、例えば学力を伸ばしたり、それぞれの児童生徒に応じた指導支援を受けることができるって部分を多く求める人がいたら、これだということふうなことが現実的に対応できますよ。その人数に対して学校ってこういうふう環境設定ができるんだよみたいなのところのイメージ図がないと、今みたいに、本当に自分が育ってきた環境と照らし合わせて、ざっくりした答えしか出せない。

(梅牧委員長) アンケートの対象は保護者と教職員と児童生徒ですよ。皆川さん、町民をイメージしていませんか。

(皆川委員) 保護者イコール町民でもあるかなと思う。保護者も私やその前後の世代だと捉えると、その上の世代の影響を受けて生きていたり、視野がどこまで広がるのか疑問に思う。

(梅牧委員長) ただそれは多様な方たちがいっぱいいるということは、前提で実施するのはしょうがないのではないか。

(皆川委員) 多様であればいいと思うが、多様ではないときが問題だと思う。少なくとも、教育大綱についてどれだけの保護者の理解が得られてるかというのが見えない段階でって実施するいうところは、皆さんの中で共有できるかなと思うんですけどいかがか。

⇒教育長より、アンケート項目について意見がいろいろあるので、12月に実施することは見送り、部会でアンケート案について再度協議頂き、次回の会議で諮り合意を得た後実施したいと話がされた。

アンケート案に関する各委員の意見は、12月6日までにメール等を出して頂きたいと依頼がされた。

7 その他

⇒学校保育課長補佐より、前回の会議で質問が出されていた、学級編成の基準は何により定められているかを『公立義務教育諸学校の学級編成の基準及び教職員定数の標準に関する法律』の条文の一部を示しながら説明がされた。

また、前回の会議後『学びの多様化学校』についてわかりやすい資料を示して欲しいと要望が出されたので、長野県教育委員会から出された資料を示し、お読み頂きたいと説明がされた。

次回の会議の日程等について説明がされた。

8 閉会

(宮本副委員長) 前回の会議の閉会のあいさつの際、話しやすい環境を作って欲しいと要望したが、本日そのような環境を作って頂き良かった。本日グループ協議でいろんな話しをして頂けたと思うので、次回はその意見を吸い上げ、進めていければ良いと思うのでよろしくお願いしたい。